

特別養護老人ホーム実態調査 調査票1

《調査票1 お問い合わせ先》 埼玉県福祉部高齢者福祉課 介護人材担当

電話 048-830-3232

FAX 048-830-4781

メール a3240-18@pref.saitama.lg.jp

ファクシミリ又はメールでの回答をお願いします。【提出期限】令和5年8月10日(木)

- この調査は、AI-OCRという文字認識機能によりデータ化し、集計を行いますので、指定された回答欄にはっきりした文字で御記入ください。
- 施設が定める1週間の勤務時間（所定労働時間）の全てを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」としてください。

1 ご回答いただいた施設

法人名				施設名			
入所定員数	従来型			床	ユニット型		床
御担当者様部署・氏名				御担当者様 TEL			

2 介護施設・職員の状況

(1) 貴施設の令和5年8月1日現在の介護職員の実人数を御記入ください。

※ 産休中・育休中等で休職中の職員を含む。

	常勤		非常勤		計	
直接雇用		人		人		人
派遣労働者		人		人		人

(2) 直接雇用介護職員の勤続年数別年齢構成

(1) で回答いただいた直接雇用の介護職員について、常勤・非常勤を合わせて、勤続年数、年齢層別の実人数を御記入ください。 ※ (1) の計人数と合致させてください。

※ 産休中・育休中等で休職中の職員を含む。

	勤続3年未満	勤続3年以上10年未満	勤続10年以上	計
10代		人		人
20代・30代		人		人
40代・50代		人		人
60歳以上		人		人
計		人		人

3 介護職員の不足感と人材確保策

(1) 貴施設の介護職員の状況について、当てはまるものに☑をつけてください。

大いに不足している

不足している

やや不足している

適当

⇒ (3) へ

(2) へ

(2) (1) で「適当」以外を選択した方に伺います。貴施設で人材が不足している理由すべてに☑を付けてください。(複数回答可)

(ア)採用が困難である(募集しても応募がない)

(イ)離職率が高い(定着率が低い)

(ウ)介護業界のマイナスイメージがある

(エ)介護を志す若者(学生)が減少している

(オ)事業拡大によって必要人数が増大した

(カ)他の介護施設や事業者が増加している

(キ)土日・シフト勤務等の不規則な勤務がある

⇒ (4) へ

(3) (1) で「適当」を選択した方に伺います。貴施設で人材確保・定着のために行った方で、効果があったと思われるものに☑を付けてください。(複数回答可)

(ア)勤務条件、職場環境の改善

(イ)資格取得への支援

(ウ)介護技術に関する研修

(エ)事業所のイメージアップの広報

(オ)賃金水準の向上

(カ)福利厚生の充実

(キ)キャリアアップの明示

(ク)週休3日制、8時間夜勤の導入など勤務体制の工夫

⇒ (4) へ

(4) 介護職員の採用活動について

① 貴施設での採用活動にかかる費用について、採用実績に比べて過大となっていますか。

過大である

ある程度
過大である

過大ではない

わからない
(採用活動をしていない、
法人が一括で採用している 等)

②へ

4へ

② 「過大である」「ある程度過大である」を選択した方に伺います。どの費用が特に負

担が大きいですか。当てはまるものに☑をつけてください。(上位3つ)

- (ア) 求人広告費 (有料ポータルサイト、求人情報誌)
- (イ) 合同説明会の参加費・開催費
- (ウ) 採用パンフレット・製本費
- (エ) プロモーション動画制作費
- (オ) 職業紹介料
- (カ) 人材派遣料
- (キ) 採用業務担当者の人件費
- (ク) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

⇒ 4 へ

4 インターンシップ (職場体験) の実施について

(1) インターンシップ (職場体験) の実施状況

- (ア) 学生対象のインターンシップのみ実施している
 - (イ) 一般対象のインターンシップのみ実施している
 - (ウ) 対象を限定せずインターンシップを実施している
 - (エ) 実施していない
- } ⇒ (2) へ
- } ⇒ (3) へ

(2) 「実施している」を選択した方に伺います。効果を感じていますか。

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 感じている | ある程度
感じている | あまり
感じない | 感じない |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

(3) 「実施していない」を選択した方に伺います。理由について、当てはまるものに☑をつけてください。(複数回答可)

- (ア) 実施するためのノウハウ不足
- (イ) 実施するための人員不足
- (ウ) 受け入れる現場の負担が大きい
- (エ) 経費の負担が大きい
- (オ) 時間的余裕がない
- (カ) 効果がない
- (キ) 必要性がない
- (ク) 採用を優先したい
- (ケ) 感染防止のため
- (コ) 特に理由はない

4 令和5年度介護職員バーチャル合同入職式・表彰式について

(1) 介護職員バーチャル合同入職式・表彰式に参加しましたか。

- 参加した ⇒ (2) へ 参加していない ⇒ (3) へ

(2) 「参加した」を選択した方に伺います。バーチャル空間についてどう思いましたか。

- (ア) 満足した。来年度以降もバーチャルでの開催が良い。
- (イ) 満足したが、バーチャルとリアル会場のハイブリッドが良い。
- (ウ) 満足したが、リアル会場での開催の方が良い。
- (エ) 不満足
- (オ) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

(3) 「参加していない」を選択した方に伺います。当てはまるものに☑をつけてください。

- (ア) 知らなかったため。
- (イ) 知っていたが、対象となる職員がいないため。
- (ウ) 知っていたが、日程が合わなかったため。
- (エ) 当日参加できなかったが、アーカイブ動画を見た。
- (オ) 当日参加できず、アーカイブ動画も見ることができなかったが
ダイジェスト動画を見た。
- (カ) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

5 外国籍介護職員の状況

(1) 「埼玉県介護職員応援宣言」を知っていますか。賛同しましたか。

- (ア) 知っている。賛同した。
- (イ) 知っているが、賛同していない。
- (ウ) 知らない。

(2) 貴施設で外国籍の介護職員を雇用していますか。当てはまるものに☑をつけてください。

雇用している、もしくは、
過去1年以内に雇用していた 雇用していないが関心がある 雇用していないし
雇用する予定もない

- ⇒ (3) へ ⇒ (4) へ ⇒ (11) へ

(3)(2)で「雇用している・雇用していた」を選択した方に伺います。貴施設の外国籍の介護職員数を在留形態別に御記入ください。(常勤・非常勤問わず)

外国籍介護職員の在留形態	R5.8.1現在の 介護職員数		R4.8.2～R5.8.1の	
			入職者数	退職者数
在留資格「特定活動（EPA）」		人		人
在留資格「介護」		人		人
在留資格「留学」※アルバイトによる就労		人		人
在留資格「技能実習（介護職種）」		人		人
在留資格「特定技能1号」		人		人
在留資格「特定活動（インターンシップ）」		人		人
その他（日本人の配偶者等、永住、定住）		人		人

⇒(3)へ

(4)外国籍介護職員を雇用する際に利用した(関心がある)助成制度に☑を付けてください。(複数回答可)

- (ア)人材確保等支援助成金(外国人労働者就労環境整備助成コース)(厚生労働省)
- (イ)外国人のための環境整備事業補助金(埼玉県)
- (ウ)特になし
- (エ)その他

(その他を選択した方：御記入ください)

(5)外国籍介護職員を雇用した(関心がある)理由について、当てはまるものに☑をつけてください。(複数回答可)

- (ア)人材の不足に対し、日本人職員の雇用が困難だから
- (イ)人材の不足に対し、いずれは外国籍介護職員が必要になると感じたから、又は、今後のテストケースとして雇用したいから
- (ウ)グローバルな事業展開が必要だと感じたから
- (エ)国際交流・国際貢献に必要なと感じたから
- (オ)外国籍介護職員は勤労意欲やホスピタリティが高いと思ったから

(6)外国籍介護職員に期待する就業年数について当てはまるものに☑をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1年以上 | 3年以上 | 5年以上 | 本人が希望する限り
できるだけ長く | 特になし |
| <input type="checkbox"/> |

(7) 外国籍介護職員の将来の希望や目標（実習期間が終了したら母国に帰国したい、在留資格「介護」を取得し日本で働きたい等）を施設・事業所として把握していますか。当てはまるものに☑をつけてください。

把握している 少し把握している あまり把握していない 全く把握していない

(8) 外国籍介護職員が介護福祉士国家試験を受験するための支援制度を設けていますか。当てはまるものに☑をつけてください。

設けている 設けていない

⇒ (9) へ ⇒ (10) へ

(9) (8) で「設けている」を選択した方に伺います。どのような支援制度を設けていますか。当てはまるものに☑をつけてください。（複数回答可）

- (ア) 介護福祉士国家試験のための日本語学習支援
- (イ) 介護福祉士国家試験対策の研修等の開催
- (ウ) 介護福祉士国家試験の受講料の助成
- (エ) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

(10) (8) で「設けていない」を選択した方に伺います。支援制度を設けていない理由は何ですか。当てはまるものに☑をつけてください。（複数回答可）

- (ア) 金銭的に難しいため
- (イ) 支援制度の運用に携わるマンパワーが不足しているため
- (ウ) 外国籍介護職員から要望がないため
- (ウ) 特に理由はない

(11) (2) で「雇用していないし雇用する予定もない」を選択した方に伺います。外国籍介護職員を雇用しない理由は何ですか。当てはまるものに☑をつけてください。（複数回答可）

- (ア) 職員数が足りており、新たに雇用する必要がないから
- (イ) 言語・文化の違いにより、業務に支障があると思うから
- (ウ) 受け入れ態勢（外国人の指導・育成）が整っていないから
- (エ) 受け入れ態勢（住居面などの生活支援）が整っていないから
- (オ) 受け入れに要するコストが高いから
- (カ) いずれ帰国してしまうなど人材の定着に繋がらないと思うから
- (キ) 受け入れに関する情報収集の場が少ない、または知識が少ないから
- (ク) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

6 ハラスメント対策

(1) 貴施設で職員向けのハラスメント（セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、カスタマーハラスメント等）対策を行っていますか。当てはまるものに☑をつけてください。

- 実施している 今後実施する予定 実施も予定もない

(2) 「実施している」または「今後実施する予定」を選択した方に伺います。

当てはまるものに☑をつけてください。（複数回答可）

- (ア) 相談員（相談窓口）を設置
- (イ) 行政等の相談窓口を周知
- (ウ) ハラスメント研修（管理職向け含む）の開催
- (エ) 研修受講支援（勤務扱い、旅費支給など）
- (オ) その他

(その他を選択した方：御記入ください)

※大問6についてのお問い合わせ先

埼玉県福祉部高齢者福祉課 総務・高齢企画担当

電話 048-830-3263

⇒調査票1は
以上です。

ご協力いただきありがとうございました。

記入内容について確認のご連絡を差し上げることがございますのでご了承ください。